

令和5年度自己評価結果公表シート

学校法人住吉清水学園 英明幼稚園遠里小野

1、園の教育目標

『三つ子の魂百まで』『人を育てるのは人』を基本姿勢に、恵まれた教育環境の中で、子どもたちのすぐれた小さな成長の芽を早く見逃さずに伸ばし、才能を磨き、豊かな心、意欲、態度を培う。
教育目標 「明るく、たくましく、辛抱強い子どもを育てる」 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる 他人を思いやる心を育てる ありがとうを言える素直な心や、感謝の心を育てる 豊かな精神と丈夫な身体を育てる 基本的な生活習慣を身につける

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	◎園の様子を保護者や地域への発信 ・子どもたちの様子をInstagramで毎日更新。また、行事の様子などは、動画を含めて公開している。 ・未就園児を対象に、毎月、園庭開放・保育体験などを開催する。未就園児及び保護者に、園への理解を深めてもらう。 ・保護者へは、毎月『園だより(菜の花だより)』を発行し、園での様子・行事などを伝えている。 ・年数回、保護者と面談し、子どもの園での様子などを話す。また、随時、保護者よりこどもについての悩みなどがあれば、担当教員と共に課題を共有し、解決していく。場合によっては、キンダーカウンセラーも入り、良い方向に導いていくようにする。
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる。	◎挨拶が自然とできる ・子ども自ら挨拶ができるように、みんなで挨拶することを実践。子どもたちからの挨拶が増えてきた。 ◎相手に対する対応 ・友達の話を聞いて、お互いの考えを発信し、考える。 ◎考える ・コミュニケーション力を育むために、自ら考え、発信する習慣を身につけさせる。
教育内容の充実	◎ボランティア活動への入り口 ・毎週金曜日に園外清掃活動を実施。 ◎食育の実践 ・6月に稲生を植え、10月に稲刈りをする。自分たちで育てた、米でおにぎりを食べることで、食に関する興味を培う。 ・11月頃には、『みかん狩り』に行く。みかんが、スーパーで並んでいるのではなく、実際の様になっているかを理解することができる。今後、ふどう狩りなども行っていきたい。 ◎毎朝の体操朝礼の実施 ◎『菜の花ボード』を設置 ・園の外壁に、こどもたちの製作物を展示する『菜の花ボード』を設置。自分たちの作品が、展示されることにより、更に子どもたちが、製作意欲を高めることができる。
子どもの体力づくり	◎毎朝の体操朝礼や縄跳びカードで個人の上達確認などをして、身体を動かす楽しさや充実感を味わえるようにする。また、集中力を身につける指導を心がける。 ◎各学年、年間25回(40分)程度の体操を組み入れている。マット・跳び箱・鉄棒などをし、バランス感覚の育成を目指す。
防犯対策	◎警備体制の充実 ・子どもたちの安全面を確保するために、登園時・降園時に通園門にて2名体制で見守る。 ・園児や職員を対象に住吉警察による『防犯教室』を実施する。 ・園周辺で不審なことが発生すれば、保護者へメールで警戒を促す通知と警察へのパトロールをお願いする。 ・正門・通園門に防犯カメラを設置することにより、不審者等への立ち入りを監視する。
送迎バス安全管理	◎送迎バスの運行における安全管理については、マニュアルを見直し、ドライバー、添乗員、担任、管理職で二重、三重でチェック項目を設け、同時にコミュニケーションを大事にしてヒューマンエラーを防止する。 ◎遠足や特別保育でバス利用する際も同様に安全管理に努める。

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・コロナ下での人数制限を見直し、大きな行事ともいえる運動会やお遊戯会、造形展(作品展)も参加できる人数の制限をなくし、保護者にも喜んでもらえることができた。 それと合わせて、子どもたちが大勢の方に見てもらえることにより、褒めてもらえる機会も増え自信をもつ子どもたちが増えてきた。 ・稲の苗植え、園外での清掃活動、菜の花ボードの設置など、成果が目に見えやすい保育に取り組み、子どもたちの『できる』を増やすことができた。 ・縄跳びで体力づくりとして、園児がカードに記録をつけることにより、楽しみながら、目標を達成する喜びを持たせることができた。
---

4、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教職員と子どもたちや保護者とのかかわり	◎園行事の充実。 ・親と一緒にやって行う行事を設ける。 ◎園児の見守り ・保護者、担当教員が、共に園児を見守り、些細な変化などの注意深く観察し、問題があれば保護者と協力しながら是正していく。 ◎寄り添う ・子ども一人一人の置かれている環境を把握しながら、寄り添って子どもたちに安心感を与えていく。そのために保護者とのコミュニケーションも密にしておくのが大事。
子どもたちにコミュニケーション力を身につけさせ実践させる。	◎令和5年度の『2. 評価項目の達成及び取り組み状況』で述べていることを再度、実践していきたい。 少しでも、令和5年度より進歩していきたい。
安全管理	◎バスの安全管理だけでなく、保育中の子どもたちの安全管理にもしっかりと取り組んでいく。 そして、子どもの安全管理を最優先する。 ◎子どもたちと正しく防災・防犯に対する知識や行動を身につけるようにしていきたい。
健康管理	◎教職員および園児たちの健康管理 ・自分自身の健康管理を含め、感染防止対策を徹底する。みんなが安心して保育できる環境づくりに努める。 ◎熱中症予防のために、熱中症指数の計測やその状況に合わせた行動基準をもって、子どもたちが健康に安心して活動できる環境をつくる。 ◎感染症への徹底情報共有 ・園児が感染症に罹患した際、教職員全員が情報を共有し、園での感染を広げないように徹底する。

5、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。
---------------------------------